

獨歩十五日命第九三號

獨立步兵第十五大隊日々命令

北谷國<sup>七</sup>民<sup>七</sup>學<sup>七</sup> 枝<sup>日</sup>

第六二師團司令部附 陸軍軍醫少尉

大前孝三  
(附<sup>日</sup>軍<sup>日</sup>省<sup>附</sup>)

石第六八二部隊兵器部勤務<sup>命</sup> 陸軍中尉

道久 惠  
(九月二十七日附)

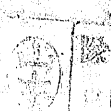
右者明八日即日歸隊ノ豫定ヲ以テ用務連絡ノ爲沖繩陸軍病院ニ出張ヲ命ス

陸軍兵技軍曹 小柴正治

右者築城材料受領ノ爲本七日即日歸隊ノ豫定ヲ以テ師團兵器部ニ出張ヲ命ス

陸軍上等兵 酒井喜代治

右者退院患者ヲ護送ノ爲即日歸隊ノ豫定ヲ以テ明六日那霸陸軍病院ニ出張ヲ命ス



獨歩十五日命第九四號

獨立歩兵第十五大隊日々命令 北谷國民學校

十月十日ヨリ昭和十九年度第一年度下士官候補者集合教育ヲ實施ス

依而下士官候補者同教育要員ハ九日十八時迄ハ大隊本部ニ集合スヘシ

細部ハ石十五教第二六號ニ據ルベシ

石十五日命第九二號第一項別紙第四中隊陸軍伍長三浦茂ヲ陸軍軍曹岩佐謙藏ニ変更訂正ス

諸見里野戰倉庫勤務兵交代ヲ尤ニ通リ實施ス

區分 差出中隊

現差出人員

新差出人員

兵 兵 兵 兵

3 2 3 2

兵 兵 兵 兵

2 2 2 2

十月十日十三時本部ニ集合副官ノ指示ヲ受クルモノトス

官士					
官					
士					

Handwritten notes and signatures in the right margin, including names like 北谷國民學校 and various dates.

四 五

備考一 服装ハ個人裝備ヲ完備スルモノトス

陸軍主計中尉

右者即日歸隊ノ豫定ヲ以テ師團經理部ニ出張ヲ命ス

第一中隊 陸軍一等兵  
第二中隊  
第三中隊  
第四中隊

武藤 亮 己  
小島 命  
川口 行  
秋田 重  
祖江 政  
大井 節  
小椋 哲  
天白 正  
橋本 光

下	士	官
藤	林	西
藤	西	

右者昭和十九年度初年兵連給手特業基  
本教育被教育  
者ヲ命ス依而十月九日十八時迄ニ大隊通信班ニ集合シ該教育ヲ受クハシ細部ハ石十五歳第一七號ニ據ル

石十五日命第九四號別冊

# 遺骨還送ニ關スル規定

獨立歩兵第十五大隊



遺骨還送ニ関スル規定

第一 本規定ハ各隊遺骨ノ内地還送ニ関シ必要ナル事項ヲ規定ス

第二 遺骨ハ毎月一回(概ネ下旬)還送スルヲ本則トスルモ其ノ都度日次ハ指示ス

遺骨ハ總テ旅團司令部ニ護送シ順序ヲ徑テ留業務担任師團ニ還送ス

第三 各隊ハ毎月十二日迄ニ左記書類ヲ提出スルモノトス

- 一 還送遺骨名 (様式第一) 一部
- 二 遺留品明細書 (様式第二) 七部
- 三 遺留品授受證 (様式第三) 三部

第四 遺留品ハ遺骨ト共ニ護送スルモノトス

第五 遺留品トハ其ノ私有品悉皆トスルモ梱包ニ當リテハ主任將校(若クハ隊長)立會申上昭和十六年陸支密第一四二五號ニヨリ嚴ニ點檢スルモノトス  
現金ハ郵便貯金ニ繰入貯金通帳ハ直接遺族宛公用書留郵

便ニ別送ノ上遺留品明細書ニ其旨記入スルモノトス  
 但シ本入貯金通帳ヲ有セザル時ハ各隊毎直接遺族宛送金スルモノトス  
 第一 遺骨遺留品ノ包装註記要領附表第一ノ如シ  
 第二 遺骨護送員ハ基三人トシ師團旅團ノ護送員トシテ命セラレ  
 タル際ハ必要ナル事項ヲ其ノ都度指示ス  
 第三 遺骨宰領者ノ給與等ニ関シテハ最寄部隊ニ於テ受ケルヲ本則トス  
 第四 遺骨ノ無キ場合等ハ寫ト具告別式ニ用ヒタル位牌或ハ之ヲ燒キタル  
 灰又ハ現地ノ土砂等ヲ以テ代ラルモノトス  
 但シ此ノ場合ハ由緒ヲ明記セル書類ヲ添附シ置クモノトス  
 第五 遺骨宰領者ノ服装ハ單獨ノ軍装トシ水筒ヲ携行スルモノトス

様式第一

還送遺骨名簿

死亡 年月日	戦傷(病)死 場所	遺骸 水籍地	留守担当者住 所續柄氏名	留師團	師團
				部隊	中隊
昭和...年...月...日	津繩縣那霸市 津繩陸軍病院	三重縣志那 宮城村大字愛 知三九大智地	同上 妻 山川ノブ子	久居驛陸上	山川太郎

- 一 着驛ハ留守業務担任部隊ノ着驛トス
- 二 官等ハ前官簿ヲ記入スルモノトス
- 三 用紙ハ白紙トス
- 四 〇ハ一例ヲ示ス